

Campus News

[キャンパスニュース]

2018. **8**
Vol.52

【特集】 「研究力」の静岡理科大学の取組み — 産学官連携・表彰 —

- ECOPAドリームプロジェクトが始動
- 静甲株式会社と包括連携協定を締結
- 物質生命科学科 桐原正之教授が
公益社団法人有機合成化学協会 有機合成化学協会賞を受賞



■ えんつりーにて建築学科1、2年生合同バーティカルレビューを開催!

去る8月7日、デザインスタジオにて、建築学会賞等を受賞された建築家・福島加津也、宮晶子両氏を迎え、各課題から優秀作品を選抜して講評会を開催しました。2年生の榎木喬君をはじめ、発表者が質疑に応えました。

はじまりを、つくる



静岡理科大学



学長挨拶



「研究力」を軸に専門力と人間力を育み、
“はじまりを、つくる”

学長 野口 博

静岡理科大学では、「研究力」を本学ブランドのコンセプトとして、右に示す本誌表紙のコミュニケーションマークを制定し、研究力の強化を推進しております。今回は、その一端をご紹介します。

学生の活躍では、矢野幸子さん（大学院システム工学専攻1年生）が、文部科学省が展開する「トビタテ留学JAPAN」に採択され、ブラジル航空技術大学院（ITA）に留学中です。留学先では、空を飛ぶ車の実現を目指して研究に励んでいます。王思聰さん（中国出身）は、本学大学院システム工学専攻修士課程を修了後、静岡大学院博士課程に進学し、金属加工技術の共同研究を本学と行っています。

はじまりを、つくる



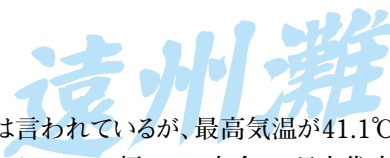
これらの活躍や建築学科開設に合わせたプロモーションの実施と新入試制度の導入による相乗効果が現れ、今年の入学者数は475名（昨年度比21%増）と開校以来の数に達しました。高学力の学生も増加し、さらに上を目指す学生のために「アドバンス教育」も鋭意進め、より上のレベルへと全学生を導く教育を推進しています。また、学生が身につけた専門力と人間力に対する「企業が考える重要度」と「本学卒業生の評価」の企業へのアンケート調査から、専門力については、重要度と卒業生の評価の差が年々狭まってきています。その一方で、人間力については、その評価項目の一つである自主性等で企業の重要度が高まってきており、人間力の育成を強化する教育により一層の力を注いでいます。

教員の活動では、本学教員が参画して建設した建築学科棟の軒下空間“えんつりー”が、中部建築賞や、静岡県環境配慮建築物（CASBEE静岡）優秀賞、静岡県建設業協会・建設もの創り大賞建築部門最優秀賞を受賞しました。また、エコパを中心とした愛野エリアを「近未来技術を磨く実証フィールド」に位置付け、ひとや技術の新たな出会いにより、地域のイノベーションを促進する本学の提案をベースに、静岡県と袋井市で「ECOPAドリームプロジェクト」がスタートしました。さらに、これも本誌に紹介している静岡市清水区に本社を置く企業との包括連携協定締結など、産学官連携も積極的に推進しております。

本学の南側に隣接する袋井市による工業団地の造成も完了し、間もなく誘致企業の建物の建設が始まることで、本学周辺が開かれた環境に変化してきております。これに呼応するように、本学の教育研究も“はじまりを、つくる”の如く、地域に開かれた新たな展開が始まっております。

遠州灘

夏本番、2018年の夏は非常に暑い。毎年、「今年の夏は暑い!」と巷では言われているが、最高気温が41.1℃という観測史上最高気温が記録され、正真正銘の暑い夏となっている。サッカーW杯ロシア大会で、日本代表の健闘に熱くなった日本は、まだまだその熱が冷めることはないようである。そんな中、遠州灘を背に各地で花火大会が開催され、涼を求め賑わいが予想される。花火は物理的な時間で考えるとほんの一時の輝きでしかないが、その情景は色褪せず、あざやかに一生の思い出として残っているものである。本学学生及び教職員がこの暑さに負けないどんな花火を打ち上げるか期待したい。(S)



Message for S.I.S.T. [大学へのメッセージ]

新しい技術の開拓を目指して 安間製茶 代表 安間 孝介さん



ドローンが建築や農業の場で活躍するようになった昨今、茶業でも活用できないものかと機械工学科の増田先生・田村先生に相談したことから私と静岡理工科大学との繋がりができました。

安間製茶は、理工科大学と同じ豊沢地区でお茶の栽培・製造を営む農家です。私自身は婿で、お茶の栽培経験も乏しいため、一般的な農家が「勘と経験」で行っている作業を「技術」でカバーできないかと考えておりました。そこで目をつけたのが、ドローンによる生育や病害虫の調査です。私もドローンを所持して自分なりに試してはありましたが、増田先生・田村先生に専門家としてご意見をいただき、学生の皆さんにご協力いただけたことで、より具体的な方向性が見えてまいりました。

まだ試験は始まったばかりですが、この動きが未来の茶業を大きく変えることになると確信しております。理工科大学の周りに広がる茶園の上を、ドローンが飛び回る日は近いかもしれません。

スクラム連携でレガシー創出を 袋井市スポーツ推進課 辻本 潤さん



静岡理工科大学は、地域に根付いた理工系大学として様々な面で地域に貢献いただいております。

スポーツ推進においては、公開講座100回記念講演の際に、ヤマハ発動機ラグビー部清宮克幸監督を講師に迎え盛大に開催いただくとともに、情報学部定國先生の研究室にあっては、ラグビープロモーションAR(拡張現実)「ラガーマー」の開発・運用をいただくなど、エコパスタジアムで開催されるラグビーワールドカップ2019の機運醸成に大変なご尽力をいただいております。ラグビーがあまりなじみのない地域にあって、地元の大学が大学ならではの企画・視点で大会のPRを行っていただくことは大変意義のあることと実感しております。

連携して取り組んだ経験・過程も大会開催の重要なレガシーとなります。これからもラグビーのスクラムのようにガッチリと連携して、地域振興に取り組んでまいりましょう。

活躍する卒業生



大同特殊鋼株式会社 技術開発研究所 磁石材料研究室

中村 通秀さん

物質生命科学科 第16期卒業生

私は小林久理眞先生の研究室で大学4年生から大学院卒業までの3年間、磁性材料について学ばせていただきました。先生とディスカッションを繰り返しながら、研究活動に明け暮れた日々は、今ではとても懐かしく感じます。小林先生は研究活動だけではなく、私の将来のことを考えたご指導をしてくださり、常に現状に満足せず、高いレベルで挑戦できる機会を与えてくださいました。様々な困難がありましたが、必死になってなんとか乗り越えてきた経験が、いまの社会生活における私の基盤になっていると思います。

現在所属している大同特殊鋼の技術開発研究所では、高性能希土類焼結磁石を開発する業務を担当させていただいております。量産性を考慮しながらも、性能を極限まで向上させていくことは、なかなか超えるべき壁がいくつもありますが、とてもやりがいがある仕事だと感じております。自分が開発に携わった磁石を多くの人に使っていただく。これは私の学生のころからの夢であり、いまは目標です。大同の磁石で世界中の人を幸せにしたいと思います。

ECOPAドリームプロジェクトが始動

5月28日(月)、静岡県庁において、「しずおか自動運転Show CASEプロジェクト」並びに「ECOPAドリームプロジェクト」の発足式が開催されました。

「しずおか自動運転Show CASEプロジェクト」では、JR愛野駅と小笠山総合運動公園(エコパ)のスタジアムをつなぐ市道において、自動運転システムを開発するための実証実験を行うことが計画されています。

この「しずおか自動運転Show CASEプロジェクト」と連携して始動させるプロジェクトが「ECOPAドリームプロジェクト」です。

平成28年度より、本学では「袋井市エコパ地区におけるモビリティ・マルチメディアイノベーション空間の創出」を目指し、その実現可能性について学内関係者で検討を重ねてきました。その上で、当該実施事業の方向性について袋井市並びに地元企業と協議を行い、袋井市や関係機関の支援を受けて「ECOPAドリームプロジェクト」と名づけた産学官一体のプロジェクトとして取組んでいくことになりました。

なお、「ECOPAドリームプロジェクト」は、エコパ地区(JR愛野駅—エコパー本学を結ぶエリア)を「近未来技術を磨く実証フィールド」と位置付け、実践型の産学官連携の推進を通して、新たなヒトや技術の出会いを創出し、既存産業やまち(地域)のイノベーションを促進することを目指しています。

今後、「ECOPAドリームプロジェクト」の実施事業のうち、本学は第一弾として「自動走行を想定したパーソナルモビリティ、電動バスの技術開発」における以下の取組みを進めていく計画です。

- ①「人間を主役」とした電動小型モビリティの開発
- ②「大人数の短距離移動」のための電動バスの開発
- ③「大人数の移動行動とそれに伴う渋滞情報」の取得

これらの取組みは、本学が事務局を担っている「静岡理工科大学産学コラボネット」や「モータドライブ応用研究会」にご参加いただいている地域企業の方々と連携して取組んでいきます。

* 「静岡理工科大学産学コラボネット」とは? ▶ <http://www.sist.ac.jp/news/20141104/index.html>

* 「モータドライブ応用研究会」とは? ▶ 詳細は、静岡理工科大学総合技術研究所にお問合せください。

連絡先: c-news@sist.ac.jp

しずおか自動運転 Show CASE プロジェクト ECOPAドリームプロジェクト 発足



各代表者と連携を誓う(右端:野口学長)

本学 荒木信幸名誉学長が平成30年春の叙勲で 瑞宝中綬章を受章されました



7月10日(火) 受賞祝賀会を開催しました

本学 荒木信幸名誉学長が、地方自治体や教育文化、福祉など各分野で功績のあった人を称える平成30年春の叙勲で「瑞宝中綬章」を受章されました。

荒木名誉学長の長年にわたる教育・研究への功績が認められ、この度の受章となりました。

荒木名誉学長は、専門分野は熱工学を研究されており、静岡大学副学長や本学学長を歴任され、現在は公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構次世代自動車センターの顧問を務められています。



瑞宝中綬章を受章された
荒木信幸名誉学長

静岡株式会社と包括連携協定を締結しました

3月29日(木)、静岡株式会社(静岡市清水区)と本学は、「基盤技術・応用技術・新技術の改良・開発並びに人材の育成」に関する包括的な連携を図ることについて合意をし、静岡市内において連携協定締結の調印式を執り行いました。

調印式では、静岡株式会社の鈴木武夫代表取締役と本学の野口博学長が協定書に署名をし、今後、「教育・研究・地域貢献」に関する多様な事業・活動を連携して展開、推進していくこととなりました。

鈴木代表取締役から、「豊かな知見、経験を持つ貴学との連携は、当社にとっても重要」との期待が寄せられ、野口学長からは、「IOTやAIなどの活用により社会や様々な産業分野は変革していく。モノ・ヒトともに『よりよいものをつくる』ために貴社と深く連携したい」との抱負が述べられました。

なお、本調印式には、静岡株式会社及び本学の関係者の他、静岡市及び静岡商工会議所の皆様にも立会人として同席いただき、池田文信静岡市経済局次長(当時)並びに大場知明静岡商工会議所専務理事から祝辞をいただきました。



連携を誓う鈴木代表取締役と野口学長(右)

〈地域との連携協定〉

協定締結機関名・締結内容	協定締結年月
「株式会社静岡銀行・静銀経営コンサルティング株式会社・静岡キャピタル株式会社・財団法人静岡経済研究所(現：一般財団法人静岡経済研究所)」との産学連携業務協力協定	平成16年10月
「浜松信用金庫」との産学連携業務協力協定	平成17年1月
「財団法人しずおか産業創造機構(現：公益財団法人静岡県産業振興財団)」との静岡県内中小企業支援協力協定	平成17年3月
「静岡信用金庫・しずおか信用金庫・清水銀行・スルガ銀行・島田信用金庫・焼津信用金庫・磐田信用金庫・遠州信用金庫・三島信用金庫・沼津信用金庫・駿河信用金庫(現：沼津信用金庫)・富士信用金庫・富士宮信用金庫・掛川信用金庫・伊豆信用金庫(現：三島信用金庫)・国民生活金融公庫・静岡県商工連合会・中小企業金融公庫(現：国民生活金融公庫)」との産学連携協力推進協定	平成17年10月
「静岡大学」との知的財産と産学官連携のための相互協力協定	平成20年11月
「袋井市」との包括連携協定	平成25年6月
「静岡県」との研究分野での連携協定	平成25年11月
「静岡市」との連携強化協定(学校法人静岡理工科大学として協定締結)	平成26年3月
「浜松市」との産学官連携協力協定	平成26年3月
「静岡県」との教育・研究協力協定	平成26年3月
「一般社団法人袋井市スポーツ協会」との体育振興及びスポーツの普及、振興での連携協定	平成28年3月
「袋井商工会議所」「磐田商工会議所」「浅羽町商会」「磐田市商工会」との連携協定	平成28年9月
株式会社フジドリームエアラインズとの包括連携協定	平成29年11月
静岡株式会社との包括連携協定	平成30年3月

物質生命科学科 桐原正之教授が 公益社団法人有機合成化学協会 有機合成化学協会賞を受賞



授賞式の様子

2018年2月に開かれた、公益社団法人有機合成化学協会通常総会において、本学物質生命科学科の桐原正之教授が、新規酸化剤である「次亜塩素酸ナトリウム5水和物(SHC)」の工業化とその酸化反応への応用の成果が讃えられ、「平成29年度有機合成化学協会賞(技術的なもの)」を受賞しました。

この受賞は、クリーンかつ安価な酸化剤として知られる高純度な「次亜塩素酸ナトリウム5水和物(SHC)」の工業的製造手法を確立したほか、SHC5のこれまでにない酸化力を示したことが有機合成化学のみならず有機工業化学の発展にも大きく寄与するものと認められてのことです。

高校生ものづくり・ことづくりプランコンテスト2017 最終審査会

2月24日(土)、浜松市と本学が主催する、「高校生ものづくり・ことづくりプランコンテスト2017」の最終審査会を浜松市内で開催しました。

このイベントは、高校生が「こんなものがあればいい」、「こんなことをやってみよう」というアイデアを基に、商品の立案から販売までを企画し、新商品のアイデアを競うもので、今回で第5回となります。県内外の21校から92件の応募があり、書類選考を通過した5校のグループが最終審査へ進み、本学の教員や外部企業の方が務める審査委員へ商品やアイデアのプレゼンテーションを行いました。

最終審査の結果、智辯学園和歌山高等学校の岡田紗季さんが提案する「次世代型AED」が最優秀賞を受賞しました。



機器分析講座

3月2日(金)、本学にて「高分子による生体関連センサーの開発とIoT社会への貢献」をテーマに機器分析講座を開催し、当日は35名の皆様にご参加いただきました。東京医科歯科大学 バイオエレクトロニクス分野 准教授 松元亮氏による講演の他、本学教員の講演、株式会社島津製作所・大塚電子株式会社の協力により、液体クロマトグラフィー・光散乱法に関する講習、デモ実演を行いました。

企業の方々と共に参加した学生にとっても、より実践的な知を得る時間となりました。



公開シンポジウム

3月3日(土)、本学にて「日本の大型ロケット開発の現状と『ロケットエンジン』を支える最先端科学技術とは」をテーマに公開シンポジウムを開催し、当日は111名の皆様にご参加いただきました。三菱重工業株式会社防衛・宇宙セグメント宇宙事業部宇宙機器技術部首席技師 安井正明氏による講演とパネルディスカッションを行い、参加者からは、「静岡県が航空宇宙産業へ尽力していることを知ることができてよかった」といった声が寄せられました。



合同企業セミナー

3月6日(火)、7日(水)の2日間にわたり、本学にて合同企業セミナーを開催しました。6日、7日それぞれ80社が参加し、6日は243名、7日は213名の学生がそれぞれ参加しました。

参加企業の担当者による学生との面談、教員との情報交換などを行いました。参加した学生たちにとって、様々な企業の担当者と直接話をする事で各業界への理解を深め、自分の将来を改めて考える有意義な時間となりました。



記念植樹

3月16日(金)、大学近くの愛野公園で、卒業生代表6名がエゴノキを記念植樹しました。この植樹は、4年間お世話になった袋井市民へのお礼として卒業生からの募金により、1期生から毎年行われており、今回で24本目の植樹になりました。

卒業生たちは「社会に出て一層精進し、木の成長と共に自分も成長していきたい」と未来への抱負を力強く話していました。



卒業式

3月17日(土)、平成29年度卒業証書・学位記授与式を挙行し、理工学部、情報学部、合わせて284名と大学院生7名が卒業しました。

卒業生を代表して理工学部機械工学科の森川征磨さんが「大学で得た知識と経験を生かし、社会と技術の発展に貢献していきたい」と力強く宣誓しました。



入学式

4月3日(火)、平成30年度入学式を挙行し、理工学部、情報学部、合わせて475名と、大学院生19名が入学しました。

新入生を代表して、理工学部物質生命科学科の石原志奈さんが「さまざまなことに真摯な姿勢で取り組み、学生生活が実りあるものとなるよう努力し続けます」と宣誓しました。



チャレンジハイク

5月12日(土)、本学のクラブ連合委員会が、毎年恒例のチャレンジハイクを開催し、当日は47名の学生が参加しました。学生たちは大学を出発、法多山から愛野公園、可睡斎へと足を伸ばすルートにチャレンジしました。新入生たちも楽しそうに輪に溶け込み、学年やサークルを超えた交流を深めていました。



総合防災訓練

5月25日(金)、本学にて教職員と学生による総合防災訓練を開催しました。訓練には学生、教職員ら915名が参加し、避難訓練やAED訓練、煙体験訓練、グラウンドにて消火活動を実施しました。また、今年度は新たな試みとして、学生団体主催による非常食の試食体験を行いました。参加者たちは、いざというときに備え、真剣な面持ちで訓練に取り組みました。



フォーミュラカーシェイクダウン

6月1日(金)、本学にて、自動車部が、2018年度ICV車(ガソリン車)のシェイクダウンを行いました。シェイクダウンとは、完成したばかりの車体に不具合がないかどうかをチェックするために行われるテスト走行のことで、新マシンのお披露目を兼ねています。部員たちは、「コーナリング性能を向上させた新マシンで今年度の学生フォーミュラでの活躍をめざす」と熱く意気込みを語りました。



入試広報NEWS

静岡理科大学の「スゴい」を体感!

■本学「受験生サイト」の「学生プロジェクト」で成長する理工科大生の姿を確認しよう!

様々な切り口で本学の魅力を紹介している「受験生サイト」(<http://www.sist.ac.jp/navi/>)。全国大会に向かう学生の姿を追い、4月より「鳥人間コンテストへの挑戦」を連載しています。本学サークルのひとつである「鳥人間を目指す飛行機研究会 Sky Traveler」は、琵琶湖畔で開催される「鳥人間コンテスト」の参加を目指し2005年に発足。動力を持たない機体で「滑空機部門」への挑戦を続けています。航空宇宙工学を学ぶ機械工学科の学生のみならず、各学科から集まった精鋭部員が、それぞれの得意分野を活かした機体を開発しています。今回は、先輩たちから引き継いだ経験や実績をベースに新たなチャレンジとして「無尾翼機」の開発に取り組み、見事2018年の出場権を獲得しました。このキャンパスニュースが発行される頃には今年の結果も判明! 試行錯誤の中で生まれた機体が琵琶湖上空を滑空する姿に夢と期待を寄せ、大学生ならではの思い切りチャレンジする姿勢を「受験生サイト」を通して一緒に体感してください。



進路イベントの日程【9月～11月】

- **オープンキャンパス 9月9日(日) 開催時間10:00～16:00**
模擬講義、研究室見学・体験、学科紹介ツアー、学食体験、保護者説明会、入試要項配布、過去問題配布など入試情報や就職情報、最新の学科情報もご案内。個別相談にも応じます。
- **Weekday大学見学会 10月8日(祝)、11月23日(祝) 開催時間13:00～16:00**
授業見学、研究室見学、入試説明会、保護者説明会、個別相談など
*詳細や参加申し込みは、本学受験生サイト (<http://www.sist.ac.jp/navi/>) からどうぞ!

2019年度生 入試日程 *詳細は本学受験生サイト、入試要項でご確認ください。

入試種別	試験日	結果通知日
指定校推薦入試		
公募制一般推薦入試・公募制自己推薦入試	11月17日(土)	11月24日(土)
専門高校・総合学科特別奨学生入試		
特待生推薦入試	12月15日(土)	12月21日(金)
一般前期(A)入試・(B)入試	1月26日(土)・27日(日)	2月9日(土)
一般前期(A)センタープラス入試・(B)センタープラス入試		
一般中期(A)入試・(B)入試	2月16日(土)	2月23日(土)
一般中期(A)センタープラス入試・(B)センタープラス入試		
一般後期入試	3月4日(月)	3月9日(土)
一般後期センタープラス入試		
前期センター試験利用(S)入試・(A)入試・(B)入試	本学独自の個別試験なし	2月9日(土)
中期センター試験利用(A)入試・(B)入試	本学独自の個別試験なし	3月9日(土)
後期センター試験利用(A)入試・(B)入試	本学独自の個別試験なし	3月21日(木)

授業の紹介

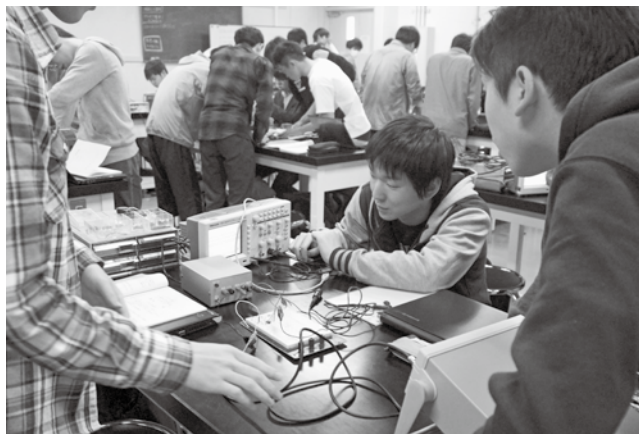
■ メカトロニクス基礎実験

電気電子工学科の2年生が前期に行う必修科目で、エレクトロニクスの基礎知識を習得した後、その基礎知識を用いて機械(メカ)を制御する能力の習得を目的としています。

この科目の前半では実験を通して基本的な計測機器の扱い方に習熟するとともに、オペアンプ(演算増幅器)を用いたアナログ回路、ロジック回路を組み合わせたデジタル回路の基本を学びます。また、後半では、PBL型教育(Problem-based learning 問題解決型学習とProject-based learning 課題解決型学習)によるメカを制御するための実験を行います。このほか、研究の遂行におけるデータの収集方法、実験ノート管理、出典明示の重要性を理解し、これらを段階的に身につけてもらいます。

最後の授業では自分たちの決めた課題に対して設計・製作・性能の評価・改良などの計画を立案し、各班に分かれて実際にものを製作して、その成果をプレゼンテーションします。

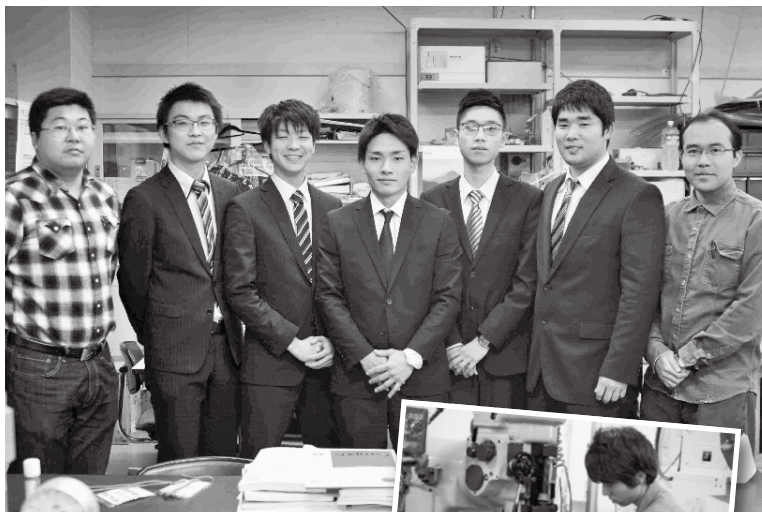
担当教員:電気電子工学科 教授 土肥 稔、准教授 中田 篤史



先端加工研究室(機械工学科)

本研究室では、電気加工の研究を行っています。放電加工、表面処理、電解加工、複合加工、分析技術等が研究対象です。特に、いま力を入れているのは「ものすごく硬い材料」をこれまでより10倍くらい速く加工する技術の研究開発です。

研究室のメンバーは毎年5~7名くらい配属される4年生と大学院生が中心ですが、「1年生でも2年生でも研究に興味ある人は来てください」といって受け入れていますので、学部3年生の学生1名、2年生の学生2名が研究室に来て、実験に参加しています。



研究室訪問

第40回

研究室学生からひとこと

坂部 晃紀 さん(機械工学科4年)

電解加工という電気で金属を溶かす加工方法と機械的な加工方法を組み合わせた加工方法の研究をしています。加工時の力を測定する装置、材料を削る装置も自分で製作し、実験します。工作センターの先生方や大学院の先輩と議論して研究するのは楽しく、やりがいがあります。12月に研究成果をまとめて学会発表する予定です。



平成30年度優秀賞表彰

機械工学科

2年生 長尾 俊典
鈴木 晴空
3年生 石川 隆介
小松 利光
4年生 鳥井 大介
坂部 晃紀

物質生命科学科

2年生 本田 兼吾
山原 翔
3年生 中村 里帆
池野 竜
4年生 白頭 菜帆
後藤 麻帆

コンピュータシステム学科

2年生 鈴木 彩夏
鈴木 恒介
竹中あいな
福井 健太
3年生 加サコラスとロ
ブチンティン
4年生 齋藤 由紘
武田 遼

1年間の学業が優秀であり、人物面においても本学学生として模範である学生に贈られる「静岡理科大学優秀賞」の表彰式を5月29日(火)に行いました。受賞者32名には、学長から表彰状と副賞が授与されました。



電気電子工学科

2年生 福嶋 将輝
吉田 拓矢
3年生 杉山 海斗
渡邊 郁弥
4年生 飯田 基博
村松 拓実

建築学科

2年生 太田帆乃加
鈴木 那実

受賞者の皆さん
おめでとうございます。

情報デザイン学科

3年生 高橋 一樹
山下 大悟
4年生 來間 幸汰
望月 寧々

同窓会
だより

同窓会長メッセージ

同窓会長の宮川信之です。日頃より、同窓生をはじめ関係者の皆様には、同窓会活動へのご理解ご協力、誠にありがとうございます。さて、わが同窓会も発足25周年を間もなく迎えるようとしています。現在の同窓会活動は、年中行事となっている「ホームカミングデー」を軸に、今後は更に強固な同窓会ネットワークを構築していこうと考えています。ネットやSNSを上手に活用し、同窓会活動の情報発信をすると共に、世界で活躍する皆さんからの声を繋げていく、そんな活動が出来ればと思っています。目まぐるしく変化する社会情勢の中で、静岡理科大学グループは発展を続けています。私たち同窓生も世代を超えて繋がりを持ち、『輝く未来』を築けるよう自らのフィールドで活躍していきましょう!

今後ともご支援ご厚情を賜りますよう宜しくお願い致します。



同窓会長
宮川 信之

ホームカミングデー開催案内

今年も、本学にてホームカミングデーを開催します。

第18回目の開催を迎える今回は、親子で協力するコミュニケーションゲームや豪華商品が当たる大抽選会を企画しています。会場内には、キッズスペースを完備しておりますので、是非、ご家族でのご参加をお待ちしております。

【日 時】平成30年10月28日(日)
11:00~12:30〈大学祭2日目〉

【会 場】本学食堂(体育厚生棟1階)

【参加料】無料

【対 象】本学卒業生及びそのご家族



同窓会各種SNSのお知らせ

ホームカミングデー等の開催告知、役員コラム、同窓会ニュース等の最新の情報を一早くお届けします! 盛りだくさんの内容となっていますので、是非ご登録ください!

同窓会LINE@に友だち登録すると、
ホームカミングデーの景品当選確率
2倍になるよ! 是非登録をお願いします!

同窓会
HP



f



LINE@



人事異動

◆…平成30年3月1日付採用
 ◆…平成30年4月23日付採用
 ☆…平成30年7月1日付採用

★…平成30年4月1日付採用
 ●…平成30年6月1日付採用

理工学部機械工学科

教授 三林 雅彦
 専門分野 材料工学、破壊力学、材料・熱処理・表面改質処理、材料力学
 略歴 名古屋大学 工学部(博士課程)修了。トヨタ自動車株式会社を経て本学教授に就任。
 趣味 旅行、スポーツ、ボードゲーム、日曜大工(電気工事士2種)、機械工作

情報学部 情報デザイン学科

教授 林 章浩
 専門分野 ソフトウェア品質管理、プロセス改善、意思決定論
 略歴 筑波大学大学院企業科学研究ビジネス科学専攻(博士)修了。小野測器 品質保証グループ担当主幹を経て本学教授に就任。
 趣味 ランニング、バックパッカー海外一人旅、読書

理工学部機械工学科

准教授 飛田 和輝
 専門分野 計測工学、メカトロニクス、福祉工学
 略歴 電気通信大学大学院電気通信学研究科博士後期課程修了。日本精工株式会社を経て本学准教授に就任。
 趣味 音楽鑑賞、演奏(トロンボーン、ピアノ)、旅行、神社仏閣、歴史、古典

理工学部建築学科

准教授 長尾 亜子
 専門分野 建築意匠、空間デザイン
 略歴 多摩美術大学芸術学部建築学科卒業。妹島和世建築設計事務所、長尾亜子建築設計事務所主宰を経て本学准教授に就任。
 趣味 読書、書道、まち歩き

★理工学部建築学科

准教授 石川 春乃
 専門分野 建築環境工学、建築エネルギー利用と快適環境、ZEB、ZEH
 略歴 早稲田大学大学院理工学研究科建設工学専攻建築学専門分野修了。長野県庁、株式会社エス・ラボラトリーズ代表取締役を経て本学准教授に就任。
 趣味 世界遺産めぐり、吟行

★理工学部建築学科

准教授 田井 幹夫
 専門分野 設計・意匠、素材・構造と空間の関係性、中間領域論
 略歴 横浜国立大学工学部建設学科建築学コース卒業。内藤廣建築設計事務所、アーキテクトカフェ・田井幹夫建築設計事務所主宰を経て本学准教授に就任。
 趣味 テニス、観劇、オーディオ、旅行、写真

★理工学部建築学科

准教授 崔 琥
 専門分野 建築構造実験、建築物の地震応答解析、地震被害調査、微動計測
 略歴 東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。東京大学生産技術研究所助教を経て本学准教授に就任。
 趣味 バイオリン、映画

★情報学部 コンピュータシステム学科

准教授 櫻井 将人
 専門分野 心理物理学、色彩工学、人間工学
 略歴 宇都宮大学大学院工学研究科博士後期課程修了。国立研究開発法人建築研究所環境研究グループ 専門研究員を経て本学准教授に就任。
 趣味 野球、サッカー、バスケットボール

★情報学部 情報デザイン学科

准教授 本多 明生
 専門分野 実験心理学、感性工学、災害心理学
 略歴 東北大学大学院文学研究科人間科学専攻博士後期課程修了。山梨英和大学院人間文化研究科臨床心理学専攻准教授を経て本学准教授に就任。
 趣味 秘湯巡り、ランニング、旅行

★教育開発センター 特命准教授

特命准教授 大石 昌利
 専門分野 数学教育
 略歴 東北大学理学部数学科卒業。静岡県立磐田農業高等学校校長を経て、本学教育開発センター特命准教授に就任。
 趣味 読書、美術館めぐり

◆理工学部 物質生命科学科

講師 鎌田 昂
 専門分野 天然物化学、化学生態学、グローバル教育
 略歴 マレーシア国立サバ大学大学院博士課程修了。サバ大学熱帯生物保全研究所シニア講師を経て、本学講師に就任。北海道大学パートナー。
 趣味 旅行、ウィンタースポーツ

●情報学部 コンピュータシステム学科

講師 江原 遥
 専門分野 自然言語処理、機械学習・人工知能、語学学習支援システム
 略歴 東京大学情報理工学系研究科数理情報学専攻博士課程修了。国立研究開発法人産業技術総合研究所人工知能研究センター研究員を経て本学講師に就任。
 趣味 展望台に登ること、笑点を見ること

☆理工学部 建築学科

教授 太田 達見
 専門分野 コンクリートの耐久性・品質評価、非破壊検査、建築施工
 略歴 宇都宮大学大学院工学研究科情報・システム工学専攻博士課程修了。清水建設株式会社を経て、本学教授に就任。
 趣味 ゴルフ、音楽鑑賞、写真撮影、食べ歩き、旅行、オーディオ

お疲れ様でした (平成30年3月31日付退職)

機械工学科 特任教授 **益田 正**
 機械工学科 特任教授 **服部 敏雄**
 機械工学科 特任教授 **園田 豊隆**

コンピュータシステム学科 教授 **宮岡 徹**
 コンピュータシステム学科 講師 **長尾 雄行**
 情報デザイン学科 講師 **今野 勝幸**

教育開発センター 特命准教授 **古橋 亘**

後援会 だより

保護者懇談会の開催

【日 時】平成30年10月27日(土)(大学祭1日目)
 【会 場】本学300講義室(学生ホール3階)

保護者懇談会では、午前全体会と学科別懇談会、午後個別面談(希望者のみ)を開催します。全体会では本学の就職状況や外部講師を招いての講演会が予定されております。学科別懇談会では各学科の特徴や近況などについてご説明させていただきます。午後に行われる個別面談はご希望者のみとなりますが助言教員より学生生活の様子などについてお話をさせていただきます。また当日は大学祭も開催されますのでぜひこの機会に本学までお越しください。なお、詳細なご案内は9月にお送りする成績表に同封させていただきます。

スポットライト

がんばる理工科大生



中村 有里さん(建築学科 2年:最後列右端)と
吹奏楽団の仲間

私は浜松市民吹奏楽団に所属し、アルトサクスを担当しています。主に社会人の色々な年齢層の方々と一緒に演奏しています。年に1度、6月頃に定期演奏会、そのほか市内のお祭りなどの依頼演奏などを行っています。

大学でもSIST Juicy JAZZ Orchestraにも所属し、様々な場所で演奏しています。

しかし、所属する建築学科の授業で出される課題は決して少ないとは言えません。1週間で製図の課題を提出するためには、多くの時間が必要であり、大学と吹奏楽の両立はとても大変です。毎日とても忙しいですが、私が市民吹奏楽団やサークルなどの活動をする理由が2つあります。

ひとつは、コミュニケーション能力が身につくからです。吹奏楽は周りの人とリズムや波長を合わせなければひとつの音楽が出来上がりません。そのために必ずコミュニケーション能力が必要です。

もうひとつは、気分転換ができるということです。ひとつのことをやり続けるより、好きなことをして気持ちを切り替えた方が、作業効率も上がると思います。

大学生のうちに色々なことを経験し、好きなことは諦めずになんでもやるべきだと私は思います。大学だけでなく、様々な活動や場に所属することによって、普段の生活だけでは知り合うことのできない多くの人と出会うことができ、楽しいこともたくさんあり、その中で学ぶことが沢山あると私は思います。

サークル紹介 Web Service Club 部長 牧野 仁志さん(コンピュータシステム学科3年)

Web Service Clubは他の団体とは異なり、情報学部の実践ベンチャービジネスという授業から派生したサークルです。授業では「しずのす」の開発、運営を行い、Web Service Clubではそのサポートを行なっています。「しずのす」とは、学生と企業のためのマッチングSNSを目標として作られたサイトです。

現在は部員22名で活動しており、より多くの学生に「しずのす」を活用してもらえるように広報活動や、アンケート企画に力を入れています。さらに、次年度の実践ベンチャービジネス受講生を育成するために幅広い活動もしており、プログラミングのスキルはもちろん、プロジェクトマネジメントやコミュニケーション能力など、社会人として必要なスキルも身に付けることができます。また、Web Service Clubは学生の基礎学力向上のためにプログラミング体験会や、試験前の勉強会を開いています。

創立3年目のサークルですが、静岡理工科大学をより良いものとするために、部員一同頑張っていきたいと思っています。



編集後記

4月から着任し何もかも分からないばかりですが、理工科大の各分野のトンがった部分と、小さく密度のある規模だからこそできる、フラットな連携力に可能性を感じています。入学者が増加していると嬉しい報告があるものの、少子化の流れの中で維持していくためには、この大学の特徴を最大限に拡張し、大学として既成概念にとらわれない実質的な変革が必要なのでしょう。全国各地で異常気象による被害のニュースが途切れません。地球規模での環境の変化は、人間自身もたらしたものだとう覚する危機感を、皆が持つことを迫られています。そんな中、我々大学という研究教育機関ができることは結構あるのではないかと考える今日この頃です。(T)

静岡理工科大学キャンパスニュース

平成30年8月24日発行

企画・編集・発行 / 静岡理工科大学 大学広報委員会

〒437-8555 静岡県袋井市豊沢2200-2

TEL.0538-45-0111 FAX.0538-45-0110

http://www.sist.ac.jp E-mail:c-news@sist.ac.jp

